

鳳凰山の大文字焼き

8月6日(旧7月13日)に予定

明治百年を記念し、物故者の慰霊と市民の無事息災を願うための「鳳凰山大文字焼き」も、着々と準備がととのい、いまでは、緑にかこまれた鳳凰山の中腹に、市長の直筆による「大」が美しく形どられるまでになった。

大文字焼きのはじまりは、今から480年前、京都の如意岳の西の中腹で、物故者の霊魂を送るために、大の字に形どったかがり火をたいたのが、その由来であるといわれているが、現在、名の知られている所では京都、箱根、土佐など4カ所ぐらいで行なわれているにすぎない。大館市の大文字焼きの規模などを紹介してみますと

「大」の字の大きさ

- ◎一画の「一」の長さ 120メートル
- ◎二画の「ノ」の長さ 180メートル
- ◎三画の「人」の長さ 150メートル

実施予定日 8月6日(旧7月13日)

もやす予定時間 午後8時～午後8時20分

方法 5メートル間かくに、高さ1.3メートルの薪(松)をつみかさねて、点火する——という方法で実施することになっているが、鳳凰山の中腹が急斜であることから、今後も再度検討を加えることにしているため、実際に実施されるときには、これらの方法も多少変わることもあるので、あらかじめ、ご了承ください。

とにかく、本市で計画している大文字焼きは、かがり火の大きさとしては日本一のものであり、あと2カ月余にせまった大文字焼きの壮観さを、ご期待ください。



<プロパンガスの保安>

消防署に調査の権限があたえられました

いままで、プロパンガスの販売、詰替、取扱所等の許可は通産省の所管でありましたが、このたびの消防法の改正により、立入検査と、知事や大臣に意見書を提出したり、法の基準に適合しているかどうかを調査する権限が消防署にあたえられました。

さらに、消防では販売事業について許可を受けた者の通報を受領したり、許可を受けようとするものについて意見書を提出することができるし、また、高圧ガスの保安目的により行政指導が行なわれるようになったものです。

<プロパンガスの安全な使い方>

プロパンガスの普及にともなって、年々火災や爆発事故が多くなっています。

事故を防ぐために、つぎの注意事項の一つ一つを守りましょう。

1. 安全な場所にするため

- コンロの周囲に燃えやすい物を置かないこと。
- 風通しをよくしておくこと。

●ボンベは必ず屋外におくこと。

2. 安全な器具として使用するため

- ゴム管類がいたんでいたら早やめに取替ること。
- 器具、コンロ等はこまめに掃除すること。

3. 正しい使い方

- 点火の時は、マッチを先につけてからコックをあけること。
- 使用後は必ず元栓をしめておくこと。
- 空気を送り開閉して炎を調整すること。
- ガスボンベを取替る時に、ガスの漏えい検査を必ずさせること。

4. 漏えい時の処理

- ガスもれなど、異常に気づいたら直ちに販売業者に連絡し応急処置をとること。
- 付近の火気を消し、一切の火気を近付けないこと。
- 元弁および容器弁をしめること。
- 窓を明け、通風をよくし、漏えいしたガスのにおいが床面からなくなるまで放出すること。

6月16日は

「父の日」です

6月の第3日曜日「家庭の日」は「父の日」にあたります。

◎家族みんなで考えて、父の働きを理解し、感謝しましょう。

◎夕食時にでも「おとうさんありがとうの会」を開いて、ささやかでも心をこめたおくりものをしたり、晚しやくのお酒もいつもよりは1本ほどふやして、おとうさんを励ますこともいいでしょう。

◎おとうさんが出稼ぎに行っている家では必ず手紙を出しましょう。

◎おとうさんのなくなった家では、生前をしのび、仏壇をかざり、お墓まいりをするのもよいでしょう。

◎おとうさんを写生したり、作文を書いてお見せすることもよいでしょう。